



【集合写真】

令和4年度 総会開催

6月30日（木）、横山美術館多目的ホールにおいて令和4年度星城懇話会総会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、書面開催が2年続きましたが、今回待ちに待った3年ぶりの対面開催となりました。当日は最高気温38度という猛暑の中、多くの方にご出席いただきました。

総会のはじめの挨拶では、工藤会長から、暑い中ご出席いただいた皆さまへ感謝の気持ちが述べられました。続いて石田名誉会長は、人の顔を見て、目を見て話をする、コミュニケーションを図ることは大切なことであると、星城懇話会での会員交流の場を出来るだけ早く設けていきたい、と語られました。



【石田正城名誉会長】



【工藤潔会長】

議事の審議に移ると、事務局より各審議事項についての説明がありました。

令和3年度事業報告・決算報告では、会員啓発事業として、名古屋をどり等の鑑賞会、コロナ禍でのチャレンジ企画として、和菓子手作りキットをお送りし楽しんでいただいたこと、学園支援事業として、ダンスの世界大会に星城高校の生徒が出演、また、全国大会には星城高校・星城大学の数多くの生徒・学生が出演させていただき、その支援として激励金等を支給したことが報告されました。

令和4年度事業計画案・予算案では、思うように活動ができなかった2年間の年会費のうち、令和3年度分の年会費を令和4年度分に振替させていただくこと、また、学園支援積立金の中で、星城高校創立60周年の記念に理事長の坐像を設置する支援として、学園に寄付をさせていただきたいこと等の提案があり、いずれの議案も全会一致で承認されました。

なお、今年度は役員改選の年となり、工藤会長をはじめ理事5名、監事2名の方々が再選されました。

横山美術館 鑑賞

企画展

細密の世界で魅了した

七宝の美



総会終了後は、横山美術館を鑑賞しました。

横山美術館は、名古屋の実業家である横山博一氏が20数年間かけて収集した輸出陶磁器、明治・大正時代を中心に日本でつくられ、海外へ輸出されたものの里帰り品をコレクションした美術館です。

鑑賞前に、横山美術館学芸員の原久仁子様より、美術館についての説明をしていただきました。横山美術館では、日本でつくられながら、私たちの目にほとんど触れることなく輸出された素晴らしく、貴重な陶磁器の数々を展示しており、その素晴らしい技術を多くの方に知ってもらい、関心をもってもらうことで、再び産業の発展へとつながっていけば、との美術館としての考え、思いをうかがいました。



【原久仁子学芸員】



【ギャラリートーク】

展示室へ移ると、色鮮やかで美しい七宝焼の数々に皆が目を奪われました。

学芸員の原様によるギャラリートークでは、七宝焼のルーツ、発展の経緯についてお話がありました。さらに、七宝焼がつくられる工程、技法を詳しく、分かりやすく解説していただき、七宝焼の最大の魅力である美しさの理由を知ることができました。

かつて、パリ万国博覧会、ウィーン万国博覧会でその素晴らしさが世界で認められた七宝焼も、当時名古屋に数百軒もの工房があったそうですが、今や数えるほどになってしまったそうです。

横山美術館では、他にも日本の先人たちによってつくられた、たくさんの豪華で華やかな美しい陶磁器が常設展示されています。会員の皆さまは数々の作品に触れ、その美しさに魅了されました。また、熱心にご質問される会員の方の姿もお見かけしました。

鑑賞後は、近隣のサロンにてコーヒーとケーキでお寛ぎいただきました。久しぶりのご歓談で、束の間の交流をお楽しみいただきました。



会員紹介

会員企業様とのさらなる交流を深めていただきたく、ご紹介のページを設けています。
今回は、株式会社 浦野設計様をご紹介させていただきます。



株式会社 浦野設計

〒452-0815 名古屋市西区八筋町90番地
TEL: 052-503-1211 FAX: 052-503-1212
URL: <http://www.urano-s.co.jp/>

(株)浦野設計は昭和25年に創業し、本年72年を迎えます。建築物の設計監理・建設コンサルタントとして、社会資本・基盤の整備に尽力してまいりました。

戦後復興の高度成長期から環境に配慮した施設づくりへと、社会は大きく変化してきていますが、生活の向上を目指して、これからの都市整備に今後共邁進していく所存でございます。



【小中台住宅】

建築設計分野は幅が広く、個人住宅から病院・文化施設・ビルや工場など、お客様の立場でより良い施設の建設を目標にご要望をお聞きして、建築設計技術者として時代に適したデザインと、100年建築と言われるように長く活用される施設創り、経済性と機能性を考慮した提案を行い、施設利用をされる皆様に快適な施設活用がなされるように進めていきます。

また、設計と共に建設時には、お客様と細部に亘る確認をしていきながら、設計の趣旨に沿った建設がなされているかの現場監理を行い、地域にあった建物の構築を心掛けています。



【名古屋石田学園 星城高等学校】

2006(平成18)年に竣工した、星城高等学校の本館建替えをはじめ、新体育館・柔道場・剣道場の設計を担当。

現在、名古屋本社を中心に、東京・大阪を始めとして神戸・岐阜・三重などに支社を配し、最新の技術を導入して最適空間を創造していきます。

【東海エレクトロニクス(株) 本社ビル】



【(株)三五 ECO35】

会員交流会&講演会



「令和4年度星城懇話会 会員交流会」を開催いたします。

今年のイベントは、日本舞踊の名物公演「名古屋をどり」で知られる、西川流 四世家元の西川千雅師にご講演いただきます。

詳細は別途ご案内します。

日時：令和4年11月28日(月)
18時00分～20時30分(予定)
場所：名古屋 東急ホテル(名古屋市中区栄)



にしかわ かずまさ
講演会講師：西川 千雅 師(西川流 四世家元)





石田正城理事長・学園長坐像

「星を継ぐ」建立

この度、星城高等学校創立 60 周年を記念して、星城高等学校同窓会が発起人となり、石田正城理事長・学園長の坐像「星を継ぐ」が建立され、星城高校石田記念館 1 階ロビーに設置されました。

「星を継ぐ」像の建立・設置にあたっては、星城懇話会からも、令和 4 年度星城懇話会総会においてご承認いただき、学園に対して寄付をさせていただきました。

この「星を継ぐ」像の制作者は、星城懇話会会長で彫刻家の工藤潔先生、題字は星城懇話会理事で書家の樽本樹邨先生によるものです。

星城懇話会会員の皆さまも、星城高校を訪れた際は是非、「星を継ぐ」像を観て、触れて、創立者石田敏徳先生の建学の理念を受け継いだ、石田正城理事長・学園長の想い、魂を感じてください。

星城懇話会 新規会員募集

「星城懇話会」は、教育・文化・芸術分野において、地域社会と名古屋石田学園との相互交流を深めるとともに、地域社会活性化に貢献することを目的とし、平成 18 年に発足いたしました。以来、地域社会とのコミュニケーション、会員の相互支援・相互協力を図る場として順調に活動を続けてまいりました。

今後も地域社会との連携により一層力を注ぎ、会員の皆さま、会員企業の方々のご活躍及びご発展を目指し、また様々な催しを企画して会員の皆さまに喜んでいただけるよう運営してまいります。

ぜひ、ご興味があるお知り合い、ご友人の方々にご紹介いただきますようお願い申し上げます。

入会キャンペーン 実施中!

キャンペーン特典

ご入会いただいた方へ

「SEIJOH」オリジナル バスタオルをプレゼント!



星城懇話会への

ご入会をお待ちしています!

〇〇〇 連絡先 〇〇〇 星城懇話会事務局（学校法人名古屋石田学園法人本部内）
東海市富貴ノ台 2-172 TEL：052-689-6002 FAX：052-689-6003
MAIL:konwakai@seijoh-u.ac.jp